

2019年
春号

FCA通信

《今回の特集》

新元号について

明治 大正 昭和 平成・・・
これらを「元号（げんごう）」といいます。
現在の元号は平成です。
昭和天皇が崩御され、昭和の時代が終わり、小淵官房長官が「新しい元号は『平成』である」と発表したシーン覚えていらっしゃる方もいらっしゃると思います。
もちろん、明治以前にも元号はあります。
今回は、元号とはなんなのか、日本の元号一覧、元号の決め方について調べて行きますよ。
？元号とは？
元号とは、特定の年代に付けられる称号のことで「年号（ねんごう）」と呼ばれることもあります。
古くは王の即位から年を数えましたが、一定の起算点を定めて年数を数える方法が考えられ、中国の前漢（紀元前206年～8年）の武帝（ぶてい・紀元前156年～87年）のとき

に使用されはじめ、次第に近隣諸国でも使用されるようになりました。
日本では、飛鳥時代（592年～710年）に元号が使用されるようになったといわれています。
日本で最初の元号は「大化（たいか）」で、645年7月17日～650年3月22日までです。
その後、長い歴史の中で数多くの元号が生まれ、現在の「平成」に至ります。
？元号の決め方とは？
慶応4年（1868）を明治元年に改元（元号を改めること）したときに、一世一元と決められました。一世一元とは、天皇ひとりにひとつの元号ということですが、これは法律ではなく天皇の詔勅（しよくちよく・天皇の意思、當時は法律と同じかそれ以上の意味をもつ）でした。それ以前は決まりがなく、

占いや、天変地異などの理由で短期間で改元されることがありました。
現在の元号の決め方は、昭和54年（1979）に成立した元号法によって定められています。
元号法には「第1項…元号は、政令で定める。第2項…元号は、皇位の継承があつた場合に限り改める（一世一元の制）」と書かれています。
昭和から平成に改元したときを思い出してください。昭和天皇が崩御されたから、内閣が有識者とともに新しい元号を決め、発表が行われましたね。
大化から平成まで、数多くの元号がありましたね。
現在の平成という元号を決めるときには、「修文（しゅうぶん）」と「正化（せい化）」という候補もあつたそうですが、話し合いの中で「平成がわかりやすく親しみやすい」「イニシャルが？明治（M）、大正（T）、昭和（S）と重ならないほうが良い」という意見があり、最終的に平成に決まったといわれています。

暮らしのクイズ

以下の設問について○×でお答えください。

<問題1>

信号が青になったにも関わらず前の車両がいつまで経っても発進しない為、クラクションで知らせた。

<問題2>

交差点とその端から5m以内のところでも、人の乗降のために停車することは、違反にならない。

<問題3>

荷物の積み降ろしのために停止する場合、運転者が車から離れていてすぐに運転できなくても5分以内であれば停車である。



元号を使っている国は、現在は日本だけです。
元号と西暦、両方を使うことは時々「面倒だなあ」と思ってしまうですが、世界で日本しか使っていない元号と考えると、親しみがわきませんか？

ほけんニュース

近年、雪災・風災が増え保険会社の支払保険金が増加していることから損害保険料率算出機構が2018年5月21日に金融庁長官にいわゆる家計分野の保険料を約5.5%引き上げた参考純率の届出をしました。各保険会社はこの参考純率を基に保険料率を決めるので今後注目ですね。

事故にまつわるエトセトラ

誰もが起こしたくない交通事故ですが、今回はその交通事故の中で、とくに起こしたくはない死亡事故の特徴をお伝えしていきたいと思います。特徴を理解することで、事故を防げるかもしれませんし、また、より一層の安全運転の意識付けになるかと思えます。

それでは、平成30年における交通死亡事故の特徴についてご紹介致します。

まず、交通事故死者数は減少傾向で昨年は532人、前年比3.1%減少しました。ちなみに前年の平成29年は694人、10年前の平成20年は209人、と着実に減少傾向になってきております。

人口10万人当たりの死者数も同様に減少傾向ですが、高齢者の人口10万人当たり死者数は全年齢層の約2倍となっています。次に、全死者数の約半数が歩行中又は自転車乗用中の死者です。そのうち約7割が高齢者となっており、そのうちの約3分の2に法令違反ありと

いうデータが出ております。

2、項目別の分析結果では、

○ 飲酒死亡事故件数は下げ止まり。

死亡事故率は「飲酒なし」と比較して約8倍。

○ 後部座席のシートベルト着用率は、高速道路と比較して一般道で低い。

非着用時の致死率は着用時と比較して約3.5倍（一般道）。

○ 携帯電話使用等に係る事故は増加傾向。

死亡事故率は「使用なし」と比較して約2倍。

○ 高齢運転者による死亡事故件数は75歳以上、80歳以上のいずれも増加。

○ 危険認知速度別の死亡事故率は40km/h超で顕著に増加。

危険認知速度40km/h超の人身事故件数と死亡事故件数の相関が強い。

3、分析を踏まえた今後の取組としては、

○ 広報啓発と交通指導取締りの強化

・ 歩行者の横断違反の防止、自転車の交通ルール

・ 車両側の横断歩行者保護

・ 車両側の横断歩行者保護

・ 車両側の横断歩行者保護

・ 車両側の横断歩行者保護

護、速度違反対策

○ 制度の見直し・検討

・ 携帯電話使用等の罰則強化

・ 高齢運転者対策（実車試験・限定条件付免許）

等

○ その他

・ 後部座席シートベルトの着用の促進、飲酒運転根絶などの取り組みが行われています。

皆さまも、あらためて安全運転への取り組みについて考えてみてはいかがでしょうか？

（警察庁統計より参照）

暮らしのクイズ

< 回答です。 >

問題、1 → ×
道交法54条2項には、原則としてクラクションは鳴らしてはいけないという記載があります。

問題、2 → ×
交差点から5m以内は、駐停車禁止の場所となります。タクシーを止める際も注意してくださいね。

問題、3 → ×
5分以内の貨物の積み降ろしであっても、運転者が車から離れて直ちに運転することができない状態にある場合は駐車です。なお、運転者が離れていない状態での5分以内ならば、停車となります。

< FCA会参画代理店 >

(株)愛神エージェンシー (有)サンライズ
(有)GIA 日比野総合保険サービス

*FCA会とは、保険代理店としてお客様に対して何が
できるか、その為に何をしていくのかを探求する代理店
の会です

身近なニュース

「働き方改革関連法」が2019年4月より施工されました。この法律は「長時間労働の是正」、「正規、非正規の不合理な処遇差の解消」、「多様な働き方の実現」という3つが柱になっているようです。

「働き方改革」については期待の声がある一方で、「労働時間が短くなれば残業代の減少によって収入が減るのではないか」、「人手不足問題が解消できるのか」といった不安の声も聞かれます。こういった不安の声、国民の声が政府に届いているのか？出生率を上昇させ、働き手を増やし労働力不足を解消し、労働生産性を向上させることが本来の目的では。

この法案が「明るい未来」、「明るい日本」になれることに期待したいと思います。